

3. 学位取得者と論文題目

京都大学博士（理学）

Andrew James Jonathan MacIntosh（課程）

論文題目：Gastrointestinal helminth parasitism among Japanese macaques: patterns, and host responses.

（ニホンザルにおける腸内寄生虫：分布パターンとその形成プロセス、ホストの反応について）

井上紗奈（論文）

論文題目：Acquisition and memory of numerical order in chimpanzees (*Pan troglodytes*)

（チンパンジーにおける数系列順序の獲得と記憶）

Mbangi Norbert Mulavwa（論文）

論文題目：Studies on grouping and ranging of wild bonobos at Wamba

（ワンバの野生ボノボのグルーピングと遊動に関する研究）

京都大学修士（理学）

大谷洋介

論文題目：屋久島に生息するニホンザル雄個体の一時離脱戦略

小川詩乃

論文題目：発達障害児の読み書きの困難さをもたらす諸要因の検討

清長 豊

論文題目：外国人児童生徒の日本語音韻意識発達

鈴木南美

論文題目：遺伝子・細胞・個体レベルからみたニホンザルの苦味感覚

廣澤麻里

論文題目：チンパンジーにおける象徴見本合わせ課題の排他律に基づく学習と刺激間関係の双方向理解

4. 外国人研究員

招へい外国人学者・外国人共同研究者

氏名：RIZALDI（インドネシア共和国、アンダラス大学講師）

受入教員：渡邊邦夫

研究内容：ニホンザルにおける攻撃行動の発達、およびスマトラ産哺乳類の保全に関する研究

招へい期間：2008年11月23日～2010年11月22日

氏名：張 鵬（中華人民共和国、中山大学社会与人类学院講師）

受入教員：渡邊邦夫

研究内容：ニホンザル社会構造の比較研究

招へい期間：2009年8月1日～2011年7月31日

氏名：BOUCHET, Hélène（フランス共和国、レンヌ大学一大学リサーチアシスタント）

受入教員：正高信男

研究内容：ニホンザルの発情声と性戦略に関する実験的研究

招へい期間：2010年9月7日～2011年9月6日

氏名：DAHL, Christoph（ドイツ連邦共和国、マックスプランク生物サイバネティクス研究所・研究員）

受入教員：友永雅己

研究内容：霊長類における顔認知および社会的認知に関する比較認知科学的研究

招へい期間：2010年10月1日～2012年9月30日

氏名：SUEUR, Cédric（フランス共和国、プリンストン大学研究員）

受入教員：渡邊邦夫

研究内容：ニホンザルにおける集団としての意志決定機構

招へい期間：2010年10月13日～2011年10月12日

氏名：PEBSWORTH, Paula（アメリカ合衆国、Site Biologist, Wildcliff Nature Reserve）

受入教員：HUFFMAN, Michael A.

研究内容：チャクマヒヒの自己治療行動と寄生虫感染の生態学について

招へい期間：2011年2月6日～2011年8月31日

氏名：PREVOSTI Francisco（アルゼンチン、自然科学博物館）

受入教員：高井正成

研究内容：化石及び現生グリソン亜科（食肉目イタチ科）の分類と系統に関する研究

招へい期間：2010年8月8日～2011年8月20日